

新年のごあいさつ



町長 伊藤 昭 宣
和寒町

新年あけましておめでとう
ございます。

町民の皆さまにおかれましては、ご家族おそろいで輝かしい平成二十六年の新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、平素から町政に対する温かいご理解とご協力に感謝申し上げます。

東日本大震災の発生から二年九ヶ月が経過いたしました。被災され今なお困難な状況の中で生活を余儀なくされておられるかたがたに対し、一日も早い復旧復興をご祈念申し上げます。

大震災以降、再生可能エネルギーへの転換の動きが全国各地で高まっていますが、本町では国の補助事業を活用した「木質バイオマス燃料製造施設」と「熱源供給施設」の運用を開始し、町有林から出る間伐材などを利用してチップを製造し、ボイラー燃料として総合庁舎等三施設に暖房用熱源を供給しており、化石燃料に頼らない「クリーンで環境にやさしいまちづくり」を今後も推進してまいります。

本町の基幹産業であります農業は、融雪の遅れや低温多雨による作業の遅れ、また、夏にかけての雨不足、収穫期の長雨などの影響により収量や品質の低下が心配されましたが、水稲は作況指数一〇五となり、ひとまず安堵しておりますが、いずれの農作物についても今後の市況の上向きに期待するところであります。また、昨年七月に交渉参加した環太平洋連携協定(TP

P)や米の生産調整見直しを柱とした農政改革など国の動向を常に注視していかなければならないと考えているところであります。

一方、消費の低迷など、商工業を取り巻く環境は依然厳しい状況にありますが、商工会の皆さんを先頭に振興のため、創意工夫をされるとともに、観光協会等と連携を図り町の活性化のために各種イベント事業にご協力をいただくなど、町の元気づくりにご奮闘をいただいていることに感謝申し上げます。町といたしましては、も町民皆さまの生活向上や地元消費の促進を図るべく、関係機関のご協力のもと、「生活応援・商工業活性化対策事業」として「二十五年度假わっさむ活活(いきいき)プレミアム付商品券」発行业業に支援をおこなったところであります。

町の財政状況は、厳しい状況が続くなか健全性を保ちつ

つ、平成二十六年度につきましても、笑顔あふれる元気なわっさむを創造し、安全・安心な暮らし、健康増進など住民福祉の向上をめざし、町民・議会・行政が一体となった町民の総意と協働により、まちづくりの基本テーマであります「人の和ひろがる恵みの大地わっさむ」を実現していくために努力をいたしてまいりますので、これまでに倍し皆さま方のご理解とご支援をお願い申し上げます。

希望に満ちて迎えた新年が町民の皆さまにとって限りなく明るい年になりますようにご祈念申し上げます。年頭にあたってのご挨拶といたします。

